

令和元年度第1回加西市総合教育会議 会議録

- 1 開会日時 令和元年5月30日(木) 15時30分
- 2 閉会日時 同日 17時20分
- 3 開催場所 加西市役所1階 多目的ホール
- 4 出席委員 市長 西村 和 平
教育長 兼 松 儀 郎
教育長職務代理者 多 田 久 子
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
- 5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
ふるさと創造部長 千 石 剛
ふるさと創造部 人口増政策課長 藤 後 靖
ふるさと創造部 人口増政策課主任 岩 野 裕 之
教育委員会教育部長 本 玉 義 人
教育委員会 教育総務課長 今 西 利 夫
教育委員会 学校教育課長 安 富 重 則
教育委員会 こども未来課長 伊 藤 勝
- 6 傍聴者 一般：4名、報道機関：なし
- 7 協議事項
(1) 加西市立認定こども園民営化基本方針(素案)について
(2) 学校現場における業務の適正化に向けて
(3) その他
- 8 会議内容
別紙のとおり

【別紙】

1 開会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議事項

(1) 加西市立認定こども園民営化基本方針（素案）について 事務局より説明

〔意見・質疑〕

委員 公立園へ訪問した際には、園が今まで築いてきた子どもに対する教育方針等のノウハウについて感心することが多かったため、民営化への流れは少し残念な印象を持った。今後、そのような教育の土台を共有し、公立、私立問わず、加西市全体で子どもたちを育てていくという姿勢が大事である。

また、民営化になると今の公立園の職員待遇はどのようになるのか。

事務局 これまでの公立園の良さがしっかりと土台となるように進めていかなければならないと考えている。公立園の職員待遇については、現在担任の職員数が足りない状況にあるため、まずは全ての公立園に正規職員を配置していきたいと思う。臨時職員については、各々の働きやすい環境を考えていきながら順次進めていきたい。その際には、できるだけスムーズに移行ができるようにある程度時間をとって各職員の意向もヒアリングしながら進めていきたい。

委員 民営化について、私も同様に少し残念な印象を持った。私立園には訪問したことがないが、公立園ではきめ細やかに子どもの対応を行っており、5歳児については小学校に向けてのカリキュラムがしっかりとなされていて安心して教育と保育を任せられるところだと感心している。ただ、国の方針や運営状況を鑑みると仕方がないと感じる。公立園では子ども1人あたりの教員数が設定されているが、私立園では裁量に任されているなど、今後、民間化へ向けて教育の質をどのように確保していくかをよく検討する必要がある。また、民営化の実施スケジュールについて、順序の根拠を教えてほしい。

事務局 教育と保育の質の確保するため、指導等についてはしっかりと検討しながら行っていく。民営化の順序について、北条東こども園は立地が町中にあるため園児が集まりやすく、民間業者としても規模的に運営しやすい。また、小学校が隣接しているため、幼小間連携も進めやすい。賀茂こども園も同様に規模的な理由によるものである。加西こども園については、大きな園になるため、先の2園

の進捗状況に応じて時期を判断したい。

委員 財政面等を鑑みると厳しい状態であるが、民営化に向けて質の確保をどうするかが一番大切に感じる。公立園では特別支援児童に対して殆どマンツーマンで対応できるような環境にあるが、民営化されてもしっかりと引き継がれるのか。現状では、どういう形になるのか少し不安がある。

事務局 残る公立園に関しては、公立園の良さを私立園にいい影響を与えていけるようなきめ細やかな指導ができる園にしていきたい。また、公立園自身もさらに発展できるよう進めていきたい。

委員 先日、公立園を訪問したが良い園だなと思ひ感激した。そこまでに至る経緯については大変な思いがあったと思う。5歳、6歳のこどもの教育が一番大事であると感じており、3年以内という短い期間での民営化スケジュール案について、よく協議を行っていただきたい。

市長 平成13年に「幼稚園・保育所の望ましいあり方」の審議会にて答申がなされ、統合と民営化の方向性が示されたが、18年経っても民営化に対する不安がある。統合はある程度進んだが、民営化はあまり進んでいないという現状であり、全体としてどのようにするのが課題である。民営化を進めれば投資額も抑えることができるが、こども園を作っていく際にも反対があったため、民営化ということになればさらに議論が進まなくなる恐れがある。そのため、先に統合を行ってから民営化を検討する方向性で進めており、北条東こども園についてはほぼ定まってきた。

教育の質についても、私立園は公立幼稚園の統合時にある程度関与しており、しっかりと運営できているため、決して質が悪いという状況ではなく、保護者も私立であるから質が悪いという認識はない。ただ、公立として全体の質を引き上げるための役割をしっかりと果たし、民間経営で難しい部分については公立で対応していきたい。民営化の議論については過去からの蓄積はあるが、さらにきめ細やかにやっていただきたい。

委員 現在、少子化が進んで地元地域である賀茂地区の小学生が少なくなっており、存続できるのか危惧している。また、保育士は給料面等も踏まえ、公立園と民営化された私立園とどちらを希望されているのか。あと、民営化された場合、少子化が進んで経営が苦しくなり、将来的に潰れてしまう可能性はないのか。

事務局 規模の面で、賀茂地区が今後どうなるのかという思いはあるが、現状では0歳から2歳の子どもの受入れが増えているため、全ての施設が5歳までの園児ということではなく、例えばその年代に特化した施設を設置する方法もあるのではと思う。また、保護者によっては地域とのつながりや学校とのつながり等が安定的である公立園が良いという方も、特定の園に思いを持たれて私立園が良いという方もいらっしゃるので、加西市は保護者の様々な考え方によって選択肢が選べ

る恵まれた環境であると思う。保育士の処遇については、私立の保育士は以前の状況に比べ、国の補助や人手不足等の要因によって処遇が改善していることと、公立の保育士は職員の採用数が限定的であることから、それぞれの求める条件やニーズによって選ばれる状況にある。

(2) 学校現場における業務の適正化に向けて
事務局より説明

[意見・質疑]

教育長 働き方改革という観点から特に校務支援システムについては教職員に好評である。スクールサポーター事業については学力向上に対する効果が絶大であるが働き方改革という観点からはどのような効果があるか。

事務局 スクールサポーター事業の中で、「かさい学校応援団」という事務作業の補助を行う支援員がいるが、この支援員を配置することによって教職員の事務作業の時間短縮につながり、学校現場で目の前にいる子どもの課題にすぐに対応できるというような時間を生み出すことができる。

教育長 「スクールカウンセラー」等、専門的なサポーターの配置における働き方改革の効果についてはどうか。

事務局 専門的な見地によつて的確なアドバイスをいただけるということは時間短縮にもつながる。また、教職員の手厚い支援のための方策を立てることができる。

委員 加西市ではスクールサポーターの多数の配置等、人的な環境整備をさせていただいていることに感謝する。教職員の働き方改革について、勤務時間の管理はどのように行っているのか。

事務局 兵庫県教育委員会が作成したエクセル形式の勤務記録簿を使用し、全教職員に記録するよう指示が出ている。これは教職員団体から要望され、勤務時間の管理についてシステム化されたものである。管理職は毎月その勤務記録簿を管理しており、残業過多にならないよう適正化を図っている。

委員 パソコンを利用したデータ管理はいつから行われているのか。

事務局 エクセル形式の勤務記録簿は2年前からであるが、勤務記録簿自体は随分前からできている。

委員 各校だけではなく、教育委員会も把握しているのか。

事務局 各校の管理職から定期的に教育委員会へ提出してもらって把握している。

委員 教育委員会が確認して問題があった場合、どのような対応を行うのか。

事務局 各校長との面談を定期的に行っているため、その際に対象となる教職員に伝達していただくようにしている。

委員 その伝達によって翌月からは改善されているのか。

事務局 すぐに反映できているかは把握できていない部分はあるが、定期的に校長会や教頭会を開催しており、その中で常に呼びかけを行いながら全体で啓発できるよう心がけながら指導している。

委員 まずは労働時間の管理がきちりとできていないと改善が難しいと思うので、しっかりと把握して、定例教育委員会等で共有化できれば今後の参考にもなるかと思う。

委員 サポートスタッフを加西市では多数配置いただいております、どの学級に行っても1名で授業を行っているケースが少なく、2名でサポートしながら指導されているため、個々の子どもに対応した教育を行えていると感じる。教職員が児童生徒と向き合う時間をつくるための大事な役割を果たしており、一人一人が力を伸ばしていくための大きな力になっていると感じる。また、ハード面でも大変充実していることが資料からでも分かるが、授業では電子黒板が効果的に使われており、これも働き方改革における時間の使い方にも役立っているのではないかと思います。今後、英語教育やプログラミング教育等、次々と新しい課題が教職員にあり、学校で教職員が指導力を向上させながらどう働き方改革を行っていくのかを教育委員会で様々なデータを検証しながら進めていただきたいと思います。

委員 スクールサポーターの「かさい学校応援団」とはどういう役割を担うものか。

事務局 例えば「スクールアシスタント」は児童生徒と直接的に関わる人員であるが、「かさい学校応援団」は児童生徒と直接的には関わらず、教職員の書類作成等の業務をサポートする支援員である。

委員 「かさい学校応援団」は教員ではないのか。また、公務員ではないのか。

事務局 事務支援員であり、教員免許の資格は求めている。また、学校には公務員の事務職員もいるが、この支援員は公務員ではない。

委員 現在配置されている「部活動外部指導者」は体育会系の部活か。

事務局 学校から実情に合わせて推薦いただいております、現在、剣道部や陸上部等、体育会系の指導者を任用している。全ての部活動に配置できれば良いが、なかなか人材の確保ができず、課題であると感じている。

委員 外部人材を確保することは様々なルール等があり難しいと思う。

事務局 基本的には部活動の教職員が中心となって指導・管理しており、技術的サポートや補助をお願いしている。

委員 平成23年頃は深夜まで学校の明かりがついているため心配をしていたが、平成28年頃から改善されているように思うので、働き方改革の成果が出ていると感じた。また、部活動によっては土日にも休まずに活動するケースがあると思うが、管理ルールはあるのか

事務局 加西市独自の部活動のガイドラインを策定しており、毎年実態に合わせて見直しを行っている。例えば、土日のうち部活動の休みの日を必ず定期的に取りるようにしており、どうしても土日両方とも休めない日は必ず月曜日に休むよう指導している。

委員 自身の経験で、残業が減ったことにより、心身的な負担や仕事に対する意欲等が変わり、充実した生活を送れていると感じる。教職員もワークライフバランスを改善すれば、より質の高い仕事ができるのではないかと期待している。

委員 少子化が進んで児童生徒が少なくなったが、なぜ教職員は忙しくなったのか。どのような要因があり、教職員の負担を軽減するにはどうしたら良いのか。

事務局 教職員の負担が増えた理由として、道徳の教科化、英語教育、プログラミング学習等、新たな教育内容が増えたため、教育を組み立てる作業、カリキュラムの作成等に時間がかかることや教育課程とは別に各種団体からの様々な要望が集まることなどが挙げられる。また、ベテラン教職員が減って若手教職員が増えたため、若手教職員の育成に時間がかかっているということも要因の一つである。

(3) その他

教育長 参考資料の新聞記事は、固定担任制の廃止、定期テスト全廃といった独自の教育改革を行っている東京都の公立中学校の記事であるが、取組については教職員の考えだけでなく、保護者の考えもあり、議論の分かれるテーマではないかと思う。以前、高校の制服についての議論があった。私服登校を認めている学校の実例があったとしても、他の学校では、なかなか私服登校を認めるといった変化が無いのが現実である。この新聞記事に掲載されている学校長の本を一読したが、「当たり前」を覆すこの教育改革は、「自分で考えて行動できる自律的な人材を育てる」ということを理想とし、その理念やビジョンを基に行った教育改革であるということが分かった。一つのアイデアを他校で取り入れる際、その考えに至ったプロセスが非常に大事ではないかと思う。働き方改革や教育改革については、日常的な発想だけでは踏み切れないということがあり、何らかの変化が発生し、それに対応するために変革せざるをえない状況というものが必要であると思う。

5 閉会